

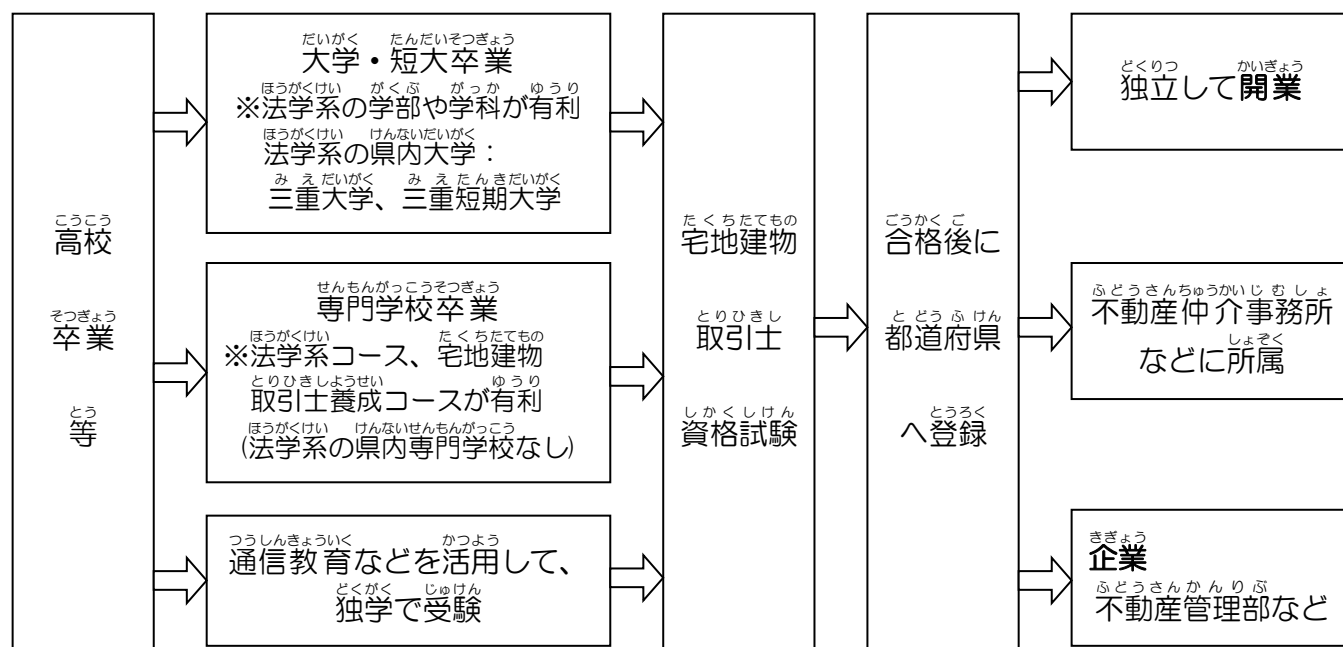
たくちたてものとりひきし 27 宅地建物取引士

(2015年4月1日から、「宅地建物取引士主任者」は「宅地建物取引士」となります。)

宅地建物取引士は、不動産取引の専門家です。専門の法律の知識を活かし、個人や会社に代わって、不動産取引の手続きのための書類を作成し、円滑な不動産取引を行います。

県内には多くの外国人が暮らしていますので、外国語ができる宅地建物取引士は、不動産取引などで困っている外国人住民に対して、その手助けができ、心強い存在となります。

たくちたてものとりひきし
宅地建物取引士になるには



早くから準備をしましょう

宅地建物取引士試験は難関で、大学や専門学校に入学して法律の専門知識を学ぶ必要があるため、高い日本語能力や学力が求められます。早くから日本語や学校の勉強と母国語の上達に心がけましょう。

資格を取れば 就職できるの？

就職先は、企業の不動産管理関係の部署、不動産仲介事務所などです。また、不動産仲介事務所で実務経験を積んだ後、独立開業をする人も多くいます。

平均年収は約500万円で、実力次第では1,000万円以上の収入も期待できます。

費用(学費)はどれくらい？

国公立大学で240万円以上(4年間)、私立大学では400万円以上(4年間)、公立短大は100万円以上(2年間)、専門学校では200万円以上(2年間)かかります。

また、通信教育や短期受験講座などは40万円以上かかります。